

増穂だより



芝浦工業大学柏中学高等学校 〒277-0033 千葉県柏市増尾700番地
TEL : 04-7174-3100(代) FAX : 04-7176-1741
URL <http://www.ka.shibaura-it.ac.jp/>

■編集／芝浦工業大学柏中学高等学校 総務部
■発行日／令和4年12月22日 発行
■印刷／株式会社横浜総合写真



Contents

■巻頭（高校教頭）／各部情報（生徒/進路/入試広報） … 2P	■学年情報（中学/高校） …… 6P
■各部情報（研究/国際） …… 3P	■PTA情報/後援部情報 …… 7P
■増穂祭/中学運動会 …… 4P	■トピックス（高校女子ハンドボール部/高校ソフトテニス部 /吹奏楽部/演劇部/中学女子テニス部/お知らせ） …… 8P
■思い出（中1/中2/中3） …… 5P	

「志望理由」を語れますか？

高校教頭 松原 誠司



毎年10・11月には、総合型選抜や学校推薦型選抜（公募推薦）を受験する高校3年生希望者への面接指導を担当しています。ここでは、面接での所作や回答法などとともに、回答内容などを一緒に検討します。

これらの入試形式において、成果につながる、すなわち合格を勝ち取る生徒は、次の2つのパターンが主となります。

①探究活動などで一定の成果を出し、その成果に基づいて大学・学部を選び、今後もその系統の研究を継続する。

②将来の研究・職種などが明確に定まり、その実現のために適した大学・学部を選択した。

近年探究活動の充実のなかで①も増加していますが、②もしくは②が中心で①の実績もやや加わるというパターンが、現状でも合格者の多数を占めています。

この種の入試においては、面接において志望理由がかならず質問されます。なぜこの大学・学部・学科を選択したかという内容です。この質問には、①もしくは②がない場合、大学が受験生に要求している水準の回答にはおよびません。これらの入試形式では、大学入学後に研究などにおいて能力を発揮できる生徒の獲得を目的としていますので、面接において各受験生の能力や意志などを確認し判定材料としています。①においては自身の研究成果、今後の目標・課題を答えれば回答として成立

し、さらに自身の研究への適応や成長の促進など、大学選択の理由も加えれば、さらに面接での評価が高まります。

成果が明確な①に対して、②は面接官にしっかりと今までの過程と今後の見通しを示す必要があります。②において、職種・研究に興味を持った契機のみを話す人がいますが、これでは不十分です。たとえば、看護師を希望して看護学科を受験する場合、以前自分や家族が病気・怪我により入院し、看護師にお世話になり、そこであこがれて看護師をめざすという内容です。これのみを話しても志望動機としての評価は高くなりません。大切なことは、その後自身でどのように看護師について調べ、どのような看護師をめざすかという現在・未来を語ることです。面接官もその点を重要視しています。以前公募推薦で国立大学の看護学科に合格した生徒は、地域医療や訪問看護の実態を調べて関心を深め、その分野で業績のある大学を志願し、また他の生徒は、海外との看護交流について入念に調べ、海外との交流で実績がある大学を選びました。両者のように、入試時点までの学問・職種に対する調査と明確な将来展望により志望理由を高めていくことが、合格には必須です。

一般選抜の場合には、志望動機は可否の基準とならないため、たとえ「なんとなく」という理由で受験しても、合格することはあります。しかし、大学・学部の選択は、それでよいのでしょうか。大学・学部の選択理由や将来像が不明確な状態では、大学や職業において充実した日々を迎えることは難しいでしょう。上記の入試と同様に、自分の興味関心や将来の職種など明確な志望理由のもとに、適切な大学・学部を選択することが重要です。一生を終える時に、人生最高の瞬間が大学合格とならないためにも、志望理由を明確にして入試にのぞむことを強くお勧めします。それがみずからを輝かしい未来に導くからです。

各 部 情 報

生徒部 生徒部情報

先日、下校時の新柏駅ホームに立ち止まらず、混雑を避けて電車を待つ様子に皆さんのちょっとした気遣いを感じ嬉しくなりました。

年間でいくらか苦情のメールや電話をいただくことがあります。登校時にホームから階段を降りる際、駅からバス停に向かう際、横に広がって周囲の迷惑になってはいませんか。仲間との会話に夢中になり、つつい大きな声になってはいませんか。同じ行為や行動でも、周囲の受け止め方は様々です。悩み事があったり体調によっては、電車内のおしゃべりも気になるかもしれませんが、どれも皆さん得意のちょっとした気遣いで難なく解決できそうなものです。学内でも他者への配慮を心掛けて生活することで、皆さんのちょっとした気遣いをより磨いていきましょう。

進路部 進路部より

2023年度入試については昨年度と大きな環境の変化がなく、全体的な大学志願者数は減少し、合格者数は増加の見込みです。つまり大学を選ばなければいずれかの大学には合格できる状況になっていますが、当然ながら合格が最終目標ではありません。大学進学後や大学卒業後まで考えた進路選択が一層重要になっています。例えば中学生のうちから将来の職業を漠然と思いつかることは出来るかもしれませんが、実際にその職業に就くために何をすべきかまで考えることはなかなか難しいことです。しかし曖昧な目標に向かって進むことはひどく困難な作業となります。将来就きたいと考える職業に就くためには今何をすべきかを逆算して行動を起こすことが大切です。大学受験まで時間は限られた分しか与えられませんが、全員に平等に与えられています。この大切な時間を有効に使ってください。

入試広報部 学校説明会を終えて

12月11日の入試説明会で今年度の学校説明会をすべて終えました。

今年の説明会も、コロナウイルス感染予防から定員を限定しての開催となりました。申し込み開始直後に定員が埋まる回も多く、大変好評でした。

増穂祭では、本校の受験を考えている受験生やその保護者の方にも見学していただくことが出来ました。ご理解・ご協力に感謝いたします。

また、昨年に引き続き10月1日と10月22日の2日間、学校見学会を実施しました。校内案内図を配布し自由見学の形をとりましたが、参加者から「在校生たちの活動の様子が見られ、とても良い機会でした」と喜びの言葉も聞くことができました。

1月よりいよいよ本校の入学試験が始まります。説明会に引き続きご理解ご協力お願いいたします。

各 部 情 報

研究部 2023年1月ベトナム本研修に向けて

現在、来年1月に予定のベトナム研修に向けて各種事前研修が行われています。ベトナムでは現地高校であるFPT高校の生徒と探究発表会に向けた準備や文化交流、スポーツ交流を計画しています。また、現地日系企業・ベトナム企業を数社訪問し、橋梁建造、ガラス製品製造、ITまで幅広く見識を深める機会を設けています。さらに世界遺産であるハロン湾に足を運び、水問題に取り組む方からお話を聞き、環境問題への関心を深めていきます。来年1月のFPT高校との交流に先立ち、現在、本校生徒とFPT高校生徒の間でオンライン交流が進んでいます。この事前交流では「水問題」をテーマに両校生徒で課題を設定し、その課題解決のための実地調査や実験を共同で行っています。FPT高校の生徒と本校生徒で数班作り、多少の失敗も含め成功体験を積み重ねながら、班ごとに英語による話し合いを少しずつ進めています。将来の科学技術人材の育成を目標とするSSH事業の一環として、将来この生徒の中から、世界で活躍してくれる人物が出てくれることを期待しています。

国際部 2022年度夏期短期留学ホームステイ

今年度は、下記の日程でホームステイを実施しました。

イギリス

7月14日（木）
～8月1日（月）
19日間 37名



オーストラリア

7月16日（土）
～7月30日（土）
15日間 15名



カナダ

7月30日（土）
～8月14日（日）
16日間 12名



アメリカ

8月7日（日）
～8月21日（日）
15日間 19名



高1新カリキュラム始動

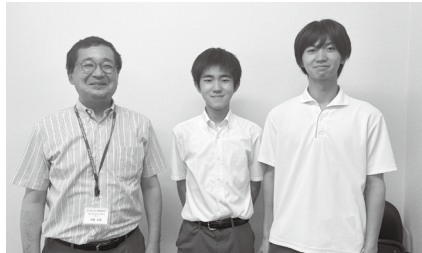
本年度の1年生より新カリキュラムが始動した。SSH2期5年目を迎え、これまでの知見をもとに、全生徒に高度な探究活動に取り組んでもらうべく、週に1時間の総合的な探究の時間を通じて新しいプログラムを実践中である。前期の半年間は、テーマ別のプレ探究を実施し、探究のプロセスを学びながら、各生徒がチームで協力してリサーチクエストの設定・論文読解・研究手法等について学んできた。後期からは、前期の経験を踏まえ、テーマ設定を自ら考えつつ、似たアイデアを持っている仲間と協力している最中である。学習指導要領にあるように、「探究」の時間は、「自己の在り方生き方と一体的で不可分な課題を発見し、解決していく」ことを主眼とする。すなわち、外なる課題と内なる課題とを絶えずせめぎあわせていく過程で、問題意識を発展させていくことが求められているのだ。恐らく、その粘り強い営為の行く末には、既存の枠組みにとらわれないアイデア＝「創造性」と、新たに見出された私＝「個性」との出会いが待っているはずだ。

SSCⅢ特別奨学生カナダ留学を終えて 高校3年3組

僕自身海外への渡航経験がとてもしなかつたため、出発直前まで楽しみに思う反面不安もありました。しかし恵まれた環境のお陰で充実した2週間を送ることができました。このような機会を与えて頂いたことで自分の視野が広がり、英語に対する向き合い方も大きく変化しました。

高校3年3組

ホストファミリーとの交流、放課後のアクティビティ、休日の観光、天候に恵まれとても有意義な2週間を過ごすことができました。コロナ禍で簡単に海外に行くことができない時期ではありましたが、貴重な経験をさせていただきました。



自分の可能性を試し広げる

毎年、芝浦柏では科学オリンピックをはじめとして様々なコンクール・コンテストに参加する生徒たちがいます。今年度は中・高合わせ約20名の生徒が情報や数学のオリンピックに参加予定で、日本数学A-lympiadにも複数チームが参加するなど、チャレンジする生徒が徐々に増えています。

また、総合探究では科学に留まらず、WebコンテストやSDGs探究アワードなど、生徒達が自らの決めた何かに応募し、取り組んできた探究の成果や、自分の持つ力を発揮しています。皆が期待通りの結果になるわけではありませんし、そもそもコンテスト・コンクールの結果が全てではありません。

それでも生徒達が自分の可能性を試す姿、また、取り組みを楽しみながら可能性を広げていく姿には、生徒達の成長を強く感じます。

「無限の宇宙へ 挑む翼を磨く」
芝柏の校歌の歌詞に込められた想いを体現する生徒達に、心からのエールを送ります。

「トビタテ！留学JAPAN」奨学生代表！

11月18日（金）文部科学省「トビタテ！留学JAPAN」成果報告会にて、本校高校3年生が、全国の奨学生約700名の代表として選ばれ、自身の海外留学体験について発表しました。報告会には、永岡桂子文部科学大臣や支援企業の代表の方々が列席されました。韓さんは、今年の夏、「トビタテ！留学JAPAN」からの奨学金を得てイギリスへ短期留学しました。

当日の様子はYouTube動画で公開されています。

※「トビタテ！留学JAPAN」とは、文部科学省と民間企業が官民協働で行っている日本最大の海外留学支援プロジェクトです。





増穂祭



中学



運動会



中1 筑波山登山



中2 科学博物館



中3 奈良京都研修



学年情報

中学 1 年 筑波山登山報告

10月27日（木）、グリーンスクール
の代替行事として日帰り筑波山登山を実施しました。紅葉の季節にはまだ少し早くやっと木々が色づき始めた頃合い
で、残念ながら紅葉を愛でるまでには至り
ませんでしたが、当日は天気にも恵まれ
気温も程よく、生徒達も久々の校外行
事ということも相まって、登山を楽しむ
ことができたと感じています。登山コー
スはつつじが丘駐車場から女体山山頂
（877m）を目指す「おたつ石コース」で、
女体山山頂から山頂連絡路を経由して
御幸ヶ原にて昼食をとり、ケーブルカー
で下山しました。筑波山は古くから山岳
信仰の対象とされており、山頂に到達し
た際の充実感に満ちた生徒達の顔が神々
しく見えたのは気のせいではないかもしれ
ません。当日は本校以外にも6団体が発
登山に訪れており途中1時間ほど行程が
遅れる事態が生じましたが、大きな怪我
もなく無事に行事を終えることができました。

高校 1 年 15 年後の社会を生きるために

早いもので入学してから9か月が経ち
ました。これまで、生徒たちは高校卒業
後や大学卒業後の理想の自分像を見つ
けるために総合探究での協同作業、夢
ナビプログラムや夢ナビライブ、オー
プンキャンパスへの参加、文理適性検
査など自分と向き合う活動をしてきま
した。特に秋以降は次年度のカリキュ
ラム選択に向けて進路講演会への参加
や担任との面談をおこない、将来につ
いて悩み、考えてきました。特に先月
に行われた本校卒業生の倉部史記さん
による『15年後の社会を生きるための
進路づくり』をテーマとした講演会は大
きな刺激となったようです。進路選
びから進路づくりに。将来をどのように
生きたいのかを考えるのは自分自身で
あり、それを実行するのも自分自身で
す。15年後の将来への希望を抱いて、
自らの意志で考え、責任ある行動が
出来る充実した高校生活を過ごしてい
たいと思います。

中学 2 年 中学 23 期生、充実の秋

中学2年生は入学して2度目の秋シー
ズンを迎えました。昨年はコロナ感
染拡大により変則日程でしたが、今年
は例年通りの行事日程となり、慌た
だしい日々を過ごしました。9月の文化
祭では環境や樹海をテーマにクラスで
企画を考え、見事に完遂しました。続
く10月の運動会では運動部を中心
に大活躍、11月には芸術鑑賞会で感
性を育み、科学博物館見学で知性を刺
激しました。そして、12月の合唱祭
では昨年以上にハーモニーを作り上
げてくれました。一方で、その合間に
定期考査と模試が行われ、準備がな
かなかできず悶々とする生徒の姿に、
本当に申し訳ない気持ちで一杯でした。
冬休みは新聞切り抜きなど課題あり
ますが、生徒一人一人が自分と向き
合い、足りない部分を補う大切な時間
にして欲しいです。保護者の皆様、
是非彼らの成長のサポート宜しくお
願い致します。

高校 2 年 高校 3 年 0 学期を前に

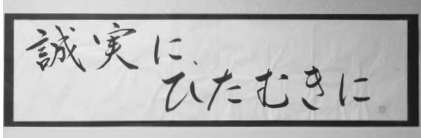
増穂祭、生徒会選挙が終わり、バト
ンを1年生へ渡す時期になりました。
一抹の寂しさを感じつつも、これから
迎える281通りの挑戦の前に身が引
き締まる思いです。11月からの面談
でいよいよ志望校も決まり、12月
には次年度に向けたカリキュラム選
択を終えました。最近、授業後に質
問を受けることも多くなり、少しづ
つ42期生も受験生になりつつある
ようです。年が明けるといよいよ受
験まで1年を切り、「高校3年0学
期」を迎えます。1月にはベネッセ
模試と共通テストチャレンジ、2
月は駿台模試と挑戦が続きますので、
まずは明日から一年の $\frac{1}{24}$ にあたる
15日間の冬休みを一日一日丁寧に
過ごしてほしいと思います。自分
自身と向き合うことは苦しさを伴
いますが、希望進路の実現に向けて
励ましていきたいと思いますので、
ご家庭におかれましても見守って
いただけて幸いです。

中学 3 年 帰家穩坐

前号の本欄では2学期の行事を羅列
し、それらを全うするための体調管理・
健康維持のお願いをさせていただきました。
いま現在、予定の行事をすべて実
施することができています。平生の
ご家庭での配慮・ご協力に、改めて
感謝申し上げます。とくに先般の
奈良・京都研修旅行では旅中の大
きな病気・事故怪我がなく、無
事に帰^{きか}家^{かおんざ}穩^{えん}坐^ざすることができ
ました。標題の「帰家穩坐」はいわ
ゆる禅語で、文字通り無事に我が
家に戻りゆっくり寛ぐことを言
います。この言葉を噛み締めた11
月となりました。さて「帰家穩坐」
には「自らの仏性に気づき、そこ
に帰着して穏やかな心境に至る」
という解釈もあるようです。生徒
のみなさんには、「仏性」を『自分
らしさ』と置き換えて、中学生活
の残り3か月を、将来に向けた新
たな自分探しの時期として、一段
と成長してほしいと願っています。

高校 3 年 学年目標を胸に

大学入試の結果で君の人生や幸福
がすべて決まるわけではない。そう
いう意味では、たかが受験。され
ど、君はその結果を出すことに
価値や意義を認め、苦しみなが
ら努力を重ねてきた。だから、
最後の1分1秒まで誠実かつ
ひたむきに学び、悩み考え、
暗記せよ。すべてが終わり、
すべてを受け入れて晴れやかな
気持ちになったら、あるいは、
現実を受け止めきれず、気ま
ずいような誰にも会いたくない
気持ちになったら、ぜひ学校に
来てほしい。いつもの部屋の
いつもの席で君の笑顔と泣き
っ面を待つ。忘れるなかれ。君
の結果がどうであろうと、地
球はいつも回っている。誰か
の期待など背負うなかれ。最
後までただひたすら己と向き
合い、思う存分、勝手にがんば
ってこい！



P T A 情報

PTA 活動報告

PTA 会長

2020年からのPTA活動の制限も緩和
され、本年度は、増穂祭はオンライン
開催から入場人数や飲食制限がある
中ですが通常開催ができました。ま
た、PTA保護者向けの文化講演会も
開催することができました。これらの
活動を通して幹事の皆さんの学年を
超えた交流も生まれ、本来の楽しい
活動が実施できた事を大変喜ばしく
思います。

今回は、各部門長の報告を掲載して
います。是非、ご一読ください。

◎増穂祭報告◎

『みんなの休憩処』を終えて

PTA 本部

入場制限や衛生対策をする中で、せ
めて生徒の皆さんが自由に飲食でき
る場所を提供したい…という考えか
ら、「みんなの休憩処」を設営しまし
た。おかげさまで多くの生徒の皆
さんに利用していただきました。P
T A 飲食部門実施のお菓子のつま
み取りの戦利品を報告し合い分け
合っている姿を見て、密な青春の
お手伝いできたようで嬉しく思
いました。また、休憩処で配布し
たシバカッシー缶バッチを今も付
けてくださっているのを校内で見
かけると、やってよかったと実感
します。増穂祭事務局の皆様、諸
先生方、そして利用してくださ
った生徒の皆さん、ありがとうございました。



『お菓子のつまみ取りへの挑戦』

飲食部門報告

高入1年生の保護者として芝柏の文
化に触れたいと思い飲食部門長に
立候補しました。今年はコロナの影
響で例年行われていたホットドッ
グの販売ができなくなり一から企
画をしなくてはならず戸惑いあり
ましたが、部門のメンバー29名
の皆さんが積極的に協力してくだ
さり無事にお菓子掘り取りコー
ナーを開催する事ができました。

学年の違う保護者の方や先生方と
交流ができ、たくさんの気づきや
発見を得ることができました。自
分も学生時代に戻ったように楽し
む事ができ、宝物のような思い出
ができました。勇気を出して立候補
して本

後援部情報

後援部の活動について

PTA 後援部長

後援部は、保護者の皆さまからお
預かりしているPTA会費の一部を生
徒や教職員の教育環境に役立つよ
う、どのような支援をするか検討し
、実行していく役割を担っています。
そのため、主に施設・設備並びに
教育用備品に関する支援について、
中長期的視点をもって検討を行な
っています。本年度は、体育館設置
用エアロバイク、サッカー部審判
用品、水泳部パーテーション・ロ
ッカー増設など部活動支援のほか、
課題研究活動の成果展示用ポスター
スペース整備、中央棟1階ビロティ
天井の再塗装等を実施してまいり
ました。現在は、災害対策として簡
易充電設備や、生徒が図書館に行
かなくとも蔵書検索できる図書管
理システムの導入を検討しています。
また、増穂祭で出展した「後援部
カフェ」には、沢山の方にご来場
頂き、施設・設備に関する様々な
アンケート回答を頂戴しました。
皆さまからのご意見を今後の支
援活動の参考にしていきたいと思います。

文化講演会

傾聴からの気づき、親子関係のあり方

文化委員長

11月5日、3年振りの文化講演会
を開催しました。講師は明治大学
教授、臨床心理士、上級教育カウ
ンセラー等の資格もお持ちの諸
富祥彦先生。

テーマは【思春期の子どもへのか
かわり方～子供の心を「傾聴」で
できる「本当の大人」になる】

講演はグループワークから始まり、
思春期の子供の心理状態や親とし
てどのように接するべきかをユー
モア溢れるトークで講演いただき、
とても楽しくたくさん笑って、そ
して大変勉強になるあっという間
の90分間でした。

グループワークを通して参加者同
士交流できたことも良かったです。

参加者からは、早速実践したい、
とても為になったといった声が
多数寄せられ大変有益な講演会
になりました。



高校女子ハンドボール部

夏の快挙！

この夏に行われた千葉県高校1年生大会にて第3位を獲得しました。準決勝では惜しくも敗れてしまいましたが、3位決定戦では快勝し、フレッシュなパワーを存分に発揮させた大会となりました。また、新チームになり、夏の集大成として挑んだ千葉県高校ジュニア大会では第4位を獲得しました。新チームとしての成長を実感し、大いに収穫のある大会となりました。

どちらの大会も創部以来初の快挙となりました。応援していただいた皆様に感謝申し上げます。今後もチーム一丸となって、より高みを目指して励んで参ります。



演劇部

SEVENPARK アリオ柏の文化祭参加！

11月5日（土）に行われたセブンパークアリオ柏の文化祭に中高演劇部が参加しました。麗澤、沼南高柳、柏南、柏日体の各高校との合同公演で演目は「オズの魔法使い」でした。学校ごと場面で分けて練習し、最終的には一つのミュージカルとして誰でも楽しめる内容となりました。当日はお天気も良く、公演の合間にはお客さんとして来ていた子供や他校の生徒と一緒に遊び仲良くなるなど、上演するという経験以上のものが得られたことと思います。



高校ソフトテニス部

今秋も県大会出場果たす

高校ソフトテニス部は、コロナにより練習試合などの機会が減少する中、基本練習を積み上げ、この秋も見事に男子団体・男女個人2ペアずつが県大会出場を果たした。特に、女子は1年生のペアが各校の並みいる先輩ペアを乗り越え、権利を獲得してくれた。県大会本番では、男子は木更津総合や拓大紅陵、女子は植草大附属や千葉黎明という団体でベスト4に入る強豪との組み合わせとなり、残念ながら悔しい敗戦となった。近年部員数は徐々に減少してしまっているが、そのなかで部長を中心に練習内容を自ら考え、実践してくれている。この経験をバネにさらなる成長を期待している。



中学女子テニス部

柏市準優勝！

柏市中学校新人大会（9/25・10/1）、個人戦の部において、1ペアが準優勝（※142ペア中）になり、県大会出場を決めました。また、柏市中学校新人大会（10/2）、団体戦の部において、柏市20校中、第3位となりました。団体は2位までが県大会出場となるため、僅差で出場を逃しました。今後とも試合結果だけで判断せず、一人ひとりの「成長の指標」を優先し、一歩ずつ前に進んでいきたいと思っています。



吹奏楽部

吹奏楽部活動報告

今年度は文化祭も対面で実施され、皆さんに演奏を披露する機会が増えたため、吹奏楽部は張り切って活動しております。文化祭では体育館のステージで、「芝吹ソウル」として「ハリーポッター」や「マツケンサンバ」などをお届けし、多くの皆様のご来場をいただきました。

10月には柏市音楽発表会で、中学生が「ミックスナッツ」「ホールニューワールド」を披露しました。また、11月の東葛飾地区アンサンブルコンテストでは、高校金管五重奏で銅賞、高校サックス四重奏で銀賞を受賞しました。

現在は各パートのアンサンブルを中心とする12月25日のクリスマスコンサートと、4月23日の定期演奏会に向けて、皆さんにさらに楽しんでいただける演奏をお届けするべく、練習に励んでいます。定期演奏会は3年ぶりとなる柏市民文化会館での開催を予定しておりますので、楽しみにしていただければと思います。



お知らせ

LINE スタンプになりました！

シバカッシー

学校の非公式キャラクターとして活動してきたシバカッシーが、今年度の増穂祭でデビューしたのはご存じでしたか？シバカッシーは、柏餅の妖精です。芝浦柏の校舎内で密かに活動していたのですが、長い時間を経てシバカシの生徒の力でWebコンテンツになりました。そして、3DシバカッシーがLINEスタンプとして頒布されています。増穂祭後はサイトを閉じてしまいましたが、インターネットで「シバカッシーの日常」と検索すると、LINEスタンプが購入可能です（下のQRコードからも可能）。また近いうちにお会いできる日が来るかもしれません。

